

1 農作業事故

農作業を安全に行い、農作業事故を防止することは、営農をしていく上の基本であり重要な事項です。しかし残念ながら、毎年農作業事故により全国で400名前後の方が亡くなっているのが実態です。

農作業事故が起こると、当事者だけでなく家族や周りの人々、営農にも大きな影響を及ぼします。

こうした悲しい農作業事故を起こさないためにも、日常の農作業を見直してみましょう。

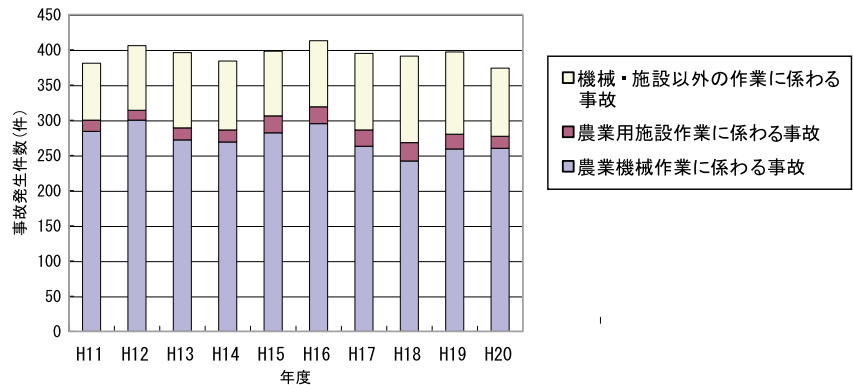


図1 農作業中の死亡事故発生状況 (農林水産省公表より)

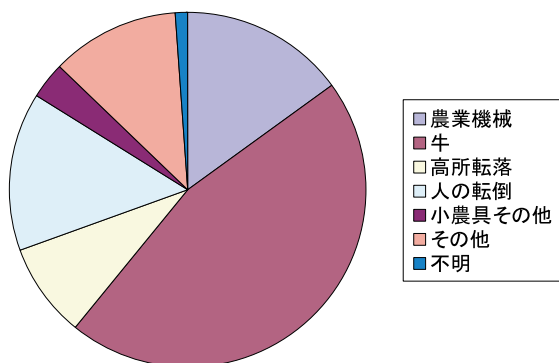


図2 平成21年根室管内の負傷事故の原因別発生状況 (平成21年度農作業事故報告書より)

また負傷事故は、『牛によるもの』が多く発生しています。平成21年の根室管内での事故発生状況では、『牛によるもの』が46%を占め、発生場所も『畜舎』が最も多く72%を占めています。

農作業死亡事故の70%は農業機械作業中に起きています。原因としては、『機械の転落・転倒』が最も多く原因の57%を占め、ついで『挟まれ』『回転部等への巻き込まれ』となっています。

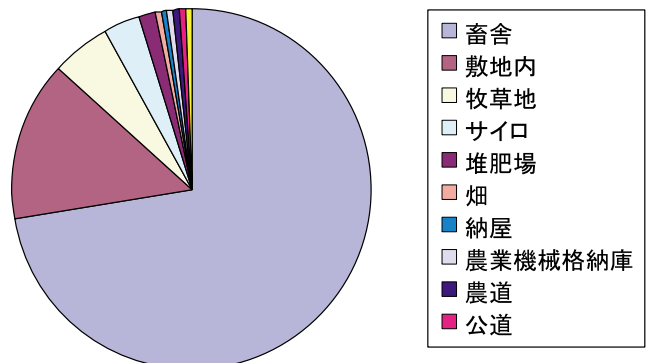


図3 平成21年根室管内の負傷事故場所別発生状況 (平成21年度農作業事故報告書より)

2 安全対策

(1) 機械・器具の安全対策

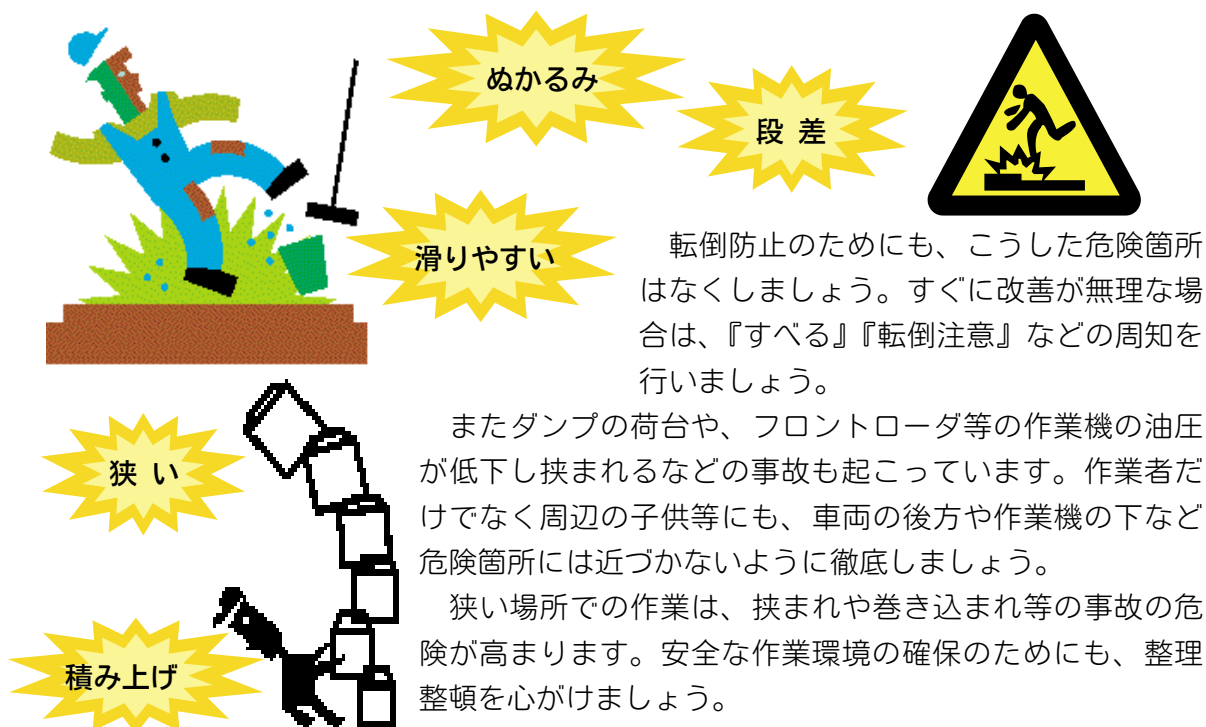
農作業を安全に行うためには、日頃から安全意識を持ち、農業用機械・器具の日常点検や適正な操作を通じ安全な作業の実施を心がける必要があります。

- ・機械作業を行う場合は、事前の点検整備を行う
- ・回転部等の整備は必ずエンジンを切って行う
- ・異常を感じた場合は、すぐに点検し、整備と周知を行う



(2) 作業環境・周辺環境への配慮

作業をしていて危ないと感じたことはありませんか。こうした日常の『ヒヤリ』の影に事故が潜んでいると言われていています。危険な場所、危険な行動はなくしていきましょう。



(3) 日常的な配慮

農作業前の打合せや余裕を持った作業計画なども、安全作業には不可欠です。日常作業から、安全を見直してみましよう。

- ・余裕を持って無理のない作業計画を立て、無理のない作業を行う
- ・複数で作業を行う時は、事前に打ち合わせを行い作業の手順や分担を明確にする
- ・作業時間が長くなりすぎないように努める
- ・疲労が蓄積しないよう、定期的に休憩をとるよう心がける
- ・身体に負担がかかる作業姿勢や同じ姿勢を続ける作業はなるべく避ける

中腰等のきつい姿勢や同じ姿勢を続ける作業では、首、肩、腰等への疲労が蓄積しやすく、事故の原因ともなります。作業台や椅子を使用するなど作業姿勢を改善し、体操や休憩で疲労の回復に努めましよう。



(4) 家畜による事故の回避

『牛に蹴られた』、『踏まれた』、『はさまれた』。酪農を営んでいると、身近にこんな話を聞いたり、実際にこんなめにあったりということがあるのではないのでしょうか。家畜による事故の回避については、8ページの乳牛の特徴及び取り扱い方を参考にして、安全に牛に接しましよう。

働きやすい環境で作業の目的を意識し、いきいき働くことが、良い仕事につながります。農作業に従事する1人1人が、笑顔で楽しく働けるように、『酪農っていいよ!』といえるように、この資料が一助になれば幸いです。